



党山形県本部の夏季議員研修会であいさつする高木政調会長＝11日 山形市

山形の夏季研に 高木政調会長

議員力磨き衆望担う

ネットワークで課題解決

公明党の高木陽介政務調査会長は11日、山形市内で開かれた党山形県本部(代表＝菊池文昭県議)の夏季議員研修会に出席し「地域のために、との責任感と使命感で衆望を担う力を共に磨いていこう」と呼び掛けた。

高木政調会長は、政府が2024年度から3年間で、少子化対策に集中的に取り組む「加速化プラン」に公明党の「子育て応援トータルプラン」が盛り込まれたことを指摘。政府への提言など「各世代に応じた切れ目ない

支援策を示したのは公明党だけだ」と強調した。

また、市民相談で寄せられた課題解決へ「行政のどの部局、誰を窓口に要望すればいいか知っておくことが大切だ。そして党の市町村、県、国の議員のネットワークを生かしていこう」と述べた。さらに党を恒常的・積極的に支持する「アクティブサポーター」拡大へ「一人一人と信頼関係を深め、党勢拡大の基盤を築こう」と力説した。

会合では、庄子賢一・党東北方面本部長(衆院議員)が党訪中団員としての抱負を、若松謙維参院議員が機関紙拡大の取り組みを訴えた。遠田敏子・酒田市議、河村豊・東根市議が党勢拡大に先駆する活動を報告した。